

我ら 50 期 ここにあり

2021 年をどんな年にするか。

中学校生活はあと 3 カ月で、今津中学校に登校する日は残すところ、1 月は 16 日、2 月は 18 日、3 月は 10 日で、みんなと会える日はあと 44 日です。手前には、第 5 回実力テスト、学年末テスト、私立受験、公立受験と越えなければならない山があります。さらにその先を見ると 4 月からは全員に新しい生活が待っています。その「未知なる我」「未見の我」に順調な滑り出しをさせるために、今まで培った力をすべて注ぎましょう。1/4 は中学で、3/4 は新しい環境で生活をするということを考えて、1 年の目標を立てて、自分に対して挑戦状を突き付けてください。この 1 年は皆さんの人生にとって大きく躍動する年になると肝に銘じてスタートを切ってください。

ゆでガエルになるな

カエルを真水の中に入れて、少しずつ少しずつ水温を高めていくと、いい湯になって気持ちよくなっていると、そのうち熱湯になってそのままカエルは死んでしまうのです。周りの変化に気付かないで、楽をしてポォ～としていたら取り返しのつかないことになりますよということです。アクションが遅かったり、気付いていても行動しなかったり、周りの変化に対してスルーするようなことをして現状維持していたら、死んでしまう（居場所や存在価値がなくなる）ということです。これは比喩なので、現実的にはカエルはそんな風になりません。カエルも水がぬるま湯になり熱湯になるまでに気付いて、“ピョン”と飛び出して逃げるでしょう。ぬるま湯につかっていると、身体は温まりませんし、湯船から出ても湯冷めしてしまいます。キーンと熱いお湯に肩までしっかりつかって、すぐに身体を拭いて服を着れば、身体は温まるし心身共にリフレッシュできるでしょう。多くの人は目の色を変えて、自分の進路を獲得し最高の形で巣立とうとしてくれています。

一生にかかるお金はどれくらい？

「人生の三大出費」とは、「教育」と「住宅」、そして「老後」にかかるお金を指します。子どもが生まれたら、その子が行く学校の入学や進学のためにまとまった金額が必要です。し、家を買うのならその資金が必要です。そして、年を取って仕事ができなくなっても、生活していけるだけのお金を確保しておかなければなりません。こうしたお金は多額になるため、長期的に準備する必要があります。大人の多くはコツコツと計画的にこれらのお金を貯めたり、銀行などの金融機関から借りたりしながら、こうした出費と向き合っているのです。子どもにこういった教育を受けさせたいか、あるいは、どのような学校に進学させたいかで金額が大きく変わってきます。幼稚園から大学まですべて公立の学校に通わせる場合と、すべて私立の学校に通わせる場合では、金額に大きな違いが出てきます。住宅を購入する人の多くは、「住宅ローン」と呼ばれるシステムを使って銀行からお金を借り、何十年もかけて、少しずつ返済します。平均の借入額は 2677.4 万円で、月々の返済額は 9.2 万円、返済期間はおおよそ 25 年間です。住宅を購入せずに借り続ける場合は、高齢になってもずっと家賃を払い続ける必要があります。平均寿命が延び、「人生 100 年時代」といわれる現代の日本では、仕事を引退してから長い年月を生きていくためのお金が欠かせません。健康かどうか、何歳まで生きるのか、どのような生活をしたいかで必要な金額は変わります。年金などの収入はあるとはいえ、老後のための貯金が必要です。

	国公立	私立
幼稚園	70 万	145 万
小学校	193 万	917 万
中学校	144 万	398 万
高 校	135 万	312 万
大 学	539 万	779 万
合 計	1,081 万	2,551 万

プラスのサイクル

勝負の 2 ヶ月で上手に力を発揮するためには、やみくもに勉強時間を増やすだけではうまくいきません。「～をしたら勉強がはかどる」「～をしたら周囲が喜んでくれる」「～をしたらリラックスできる」「～をしたら落ち着く」「～をしたら切り替えられる」とう、プラスのサイクルを見つけておこう。自分を最高の状態に自分で持っていけるように工夫しよう！

